



信楽中学校校報

令和2年度 第9号

(令和2年8月24日発行)

「形」から「内容」へステップアップを！

～1学期から、2学期へ、成長の階段を一步ずつ上がっていきましょう～

短い夏休みが終了し、本日より2学期のスタートとなりました。1学期には、各学年ともに着実に成長した姿を見せてくれた生徒の皆さん、実りの秋といわれる2学期にさらに成長をしたいものです。授業を大切にすること、ルールを守って学校生活を送ること、人に迷惑をかけないこと……。徐々にできてきています。決して後戻りせず、できてきた「形」から、今度は「内容」、「質」の向上へとステップアップしたいものです。



【始業式講話より】

2学期の開始にあたり、2つのテーマで話をしたいと思います。

1つ目は、勉強についてです。「効果的な学習のあり方」についてです。

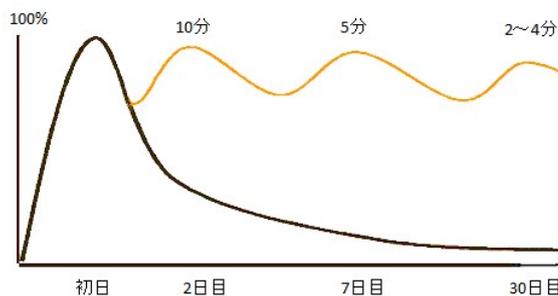
よく昔から、秋は、気候も涼しくなって過ごしやすくなり、日も短くなって、夜に自分の時間も作りやすいからでしょうか、「学問の秋」という言葉が言い伝えられてきました。

学校でいえば、2学期は1年の中で一番長い学期であり、4か月あります。今年は、1学期が2か月だけだったので、2倍の長さになります。だから、定期テストも2回あります。もちろん教科書もどんどん進んでいくことになります。その意味では、この2学期は、着実に学力を養うべき学期であるといえます。学力をつけることに近道、早道というのはありません。目標と計画を立てて一日一日努力することが大切です。特に学校の1時間1時間の授業、これを何より大事にしていきたい。始まりのチャイムから、終わりのチャイムまで、集中力を持続できるようになりましょう。

さらに、効果的に力をつける方法を今日は紹介したいと思います。

この図を見てください。(エヴィングハウスの忘却曲線)

これは、人の脳が、学習したことを、どれくらいの時間で、どれくらい忘れてしまうのかをあらわしたグラフです。縦軸が記憶量、横軸が時間の経過を表しています。また、曲線の上にかかれた時間は、復習するための時間を表しています。



このことから、復習の大切さがわかるかと思います。しかも、記憶に長くとどめるには、ただやみくもに復習するというよりも、タイミングも大切だということがこの曲線からわかります。

学習した後の24時間以内(2日目まで)に10分間の復習をすると、記憶率は100%に戻ります。そして、ここからが素晴らしいのですが、次回の復習は1週間以内にたった5分すれば記憶はよみがえるのです。そして、次は1か月以内に2~4分復習すれば、また記憶は復活するのです。

次に、2つ目の話をします。テーマは「本当の楽しさとは何か」についてです。

2学期は、体育祭や文化祭合唱など、学級や学年の仲間と力を合わせて取り組む行事があります。これまでに、学校行事で、楽

しかったな、みんなで盛り上がってよかったなどという経験をしている人も少なくないだろうと思っています。ぜひ、2学期の行事の中で、「楽しい」「楽しかった」という感想が聞きたいのですが、ここで一つみなさんと考えてみたいのですが、「楽しさ」とはどういったものなのでしょうか。

信楽図書館で絵本を借りてきました。「こころのふしぎ、なぜ?どうして?」という本です。この本は、こころのひみつについて、子どもが「なぜ?」と思ったことに、先生が答えていく形の構成になっています。

読み進めていくと、こんなページがありました。

「楽しいことだけずっとしていたいんだけど、いい?」 子どもからの問いかけに対して、タノシンス博士が答えています。

「いいと思います。でも、そのためには、「楽しさ」について知っておいてほしいことがあります。実は楽しさには、2種類あるのです。一つは、漫画を読んだり、友達と遊んだりといった自分が楽しむための楽しさ。

もう一つは、自分が頑張って、誰かを楽しい気持ちにさせることで、自分も楽しくなる楽しさです。じつは、ずうーと楽しいことだけをするには、「だれかを楽しませる楽しさ」じゃないと、いけないのです。

もう一つエピソードを紹介します。これは、インターネットの記事で見つけました。

「人生には2種類の楽しさがある。一つは刹那的な楽しさ。(※刹那的とは、将来を考えず、瞬間だけ充実させて生きること、一時的な快楽を求めること)



この刹那的な楽しさとは何かというと、カラオケで友達と騒いだり、ゲームセンターに行ってゲームをしたりすること。これを刹那的な楽しさという。もう一つは、本当の楽しさ。この本当の楽しさとは何かというと、達成感や充実感、そして成功体験のことを言う。(中略)つまり、小林さんは、自分の目標を叶えるために努力して叶えることができた!、少しずつだけれど、毎日毎日続けることで成果を残すことができた。など、本当の楽しさとは、「達成感」であり

「充実感」であり、成功体験であると言っておられます。

2学期は、クラスみんなで取り組む行事があります。その行事に、まず自分自身が楽しむ気持ちをもって向き合ってください。そして、一人一人のその気持ちが、大きな「楽しさ」となって、みんなで、誰一人クラスの仲間を取り残さず、「みんなで目標めざして、一つになることができた。楽しい時間を持つことができてよかった。」と、「本当の楽しさ」を感じられる時間となることを願っています。

危険、川では泳いではいけません

夏休み中、信楽交番のおまわりさんが学校に来られ、「川で泳いでいる中学生がいたので注意をしておいた。」と報告を受けました。すぐに現地を見に行きましたが、ダムのように水がためてある水深もかなりある場所で、私たちも肝を冷やしました。全国各地で水の事故も発生しています。絶対に川や池で泳いではいけません。(区長さんの協力も得て、取り急ぎ「近づくな」看板を設置しました。)



グランド手洗い場の水を出しっぱなしにしてある事件頻発

今年度4月以降になってから、生徒下校後、グランドの手洗い場を使い、そのまま水が出しっぱなしにしてあることが、2~3回ありました。実は、昨年度も、朝に犬の散歩をされている方から同様の話が数回ありました。本校では、毎朝教頭先生が水道のメータを確認して、水漏れがないかなどを点検していますが、8月22日(土)にもまた水が出しっぱなしとなっていました。水道代は、市の学校予算で支出しており、心無い誰かの行為により、税金からいただいている大切な予算が無駄使いされ、減っていくことは学校としても耐え難いものがあります。中学生が学習する教育環境を守るため、今後は交番にも相談をしていこうと考えています。